横浜精神分析研究会 第 3 回 特別セミナー

力動的セラピストになるために File. 3

― セラピストとしての仕事：

こころについて言葉で考えることをめぐって ―

現在の日本において心理士（サイコロジスト）の仕事は多岐にわたります。かつては心理療法が中心的な仕事でしたが、昨今ではそうではない現状があるようです。時代の変化とともにサイコロジストのあり方や、求められているものが移り変わるのは自然なことでしょう。だからこそ、サイコロジストは自らの専門性を洗練し確立していくたゆまぬ努力がいっそう必要になってきています。本セミナーは、力動的な観点をもった心理療法家になるために必要な基礎的かつ本質的なテーマを取り上げています。

第 3 回の今回は「こころについて言葉で考えること」をテーマとして取り上げます。数多くある心理療法の中でも力動的な観点を持った心理療法では、その治療的道具はセラピスト自身であることは言うまでもありません。知識や経験は必要ですがそれだけではなく、目の前の臨床事態について自らのこころや情緒を使い考え続けていくという地道な作業が、クライエントや治療関係の理解や変化を促す土台となります。しかし、この前提条件が、昨今では前提ではなくなりつつある風潮があるように思われます。私たちは、今一度この前提に立ち戻り、心理療法を実践するとはどういうことか、その本質を探究する必要があるでしょう。また、言葉と言葉のやりとりによって実践される心理慮法では、その言葉の作用を心得ておく必要もあるでしょう。「こころについて言葉で考えること」は、力動的セラピーの根幹です。様々な事例や臨床事態に対応していくために、その本質を探究する姿勢が大切なのではないでしょうか。

このような趣旨から第 3 回目の特別セミナーを企画いたしました。この機会に心理療法の本質を探究してみませんか。

■講師の先生のご紹介： **平井正三** 先生

京都大学教育学部博士課程修了後、ロンドンのタビストック・クリニックの児童・青年部門にて精神分析的心理療法の訓練課程を修了し、英国の子ども・青年心理療法士の資格取得。佛教大学臨床心理学研究センター嘱託臨床心理士（1997～2006）、京都光華女子大学人間関係学部助教授（2000 年～2003）を経て、2004 年から御池心理療法センターにおいて開業、2005 年から NPO 法人子どもの心理療法支援会を設立。日本精神分析学会認定心理療法士・スーパーバイザー。子どもの心理療法をはじめとし幅広い臨床分野において、精神分析的観点からの明達な考察を行っている。「精神分析の学びと深まり―内省と観察が支える心理臨床」・「精神分析的心理療法と象徴化―コンテインメントをめぐる臨床思考」（いずれも岩崎学術出版社）・「子どもの精神分析的心理療法の経験―タビストック・クリニックの訓練」（金剛出版）の著作の他、「自閉症世界の探求―精神分析的研究より」（金剛出版）など多くの翻訳に携わる。

■司会：北川清一郎（心理オフィス K）・吉沢伸一（ファミリーメンタルクリニックまつたに）

■日程：平成 27 年 9 月 27 日（日）

13 時 00 分～14 時 50 分 第 1 部：講義

15 時 00 分～16 時 50 分 第 2 部：事例検討

■会場：神奈川県公文書館 2 階 大会議室

■交通：相鉄線「二俣川駅」（横浜駅から急行 11 分）下車、徒歩 17 分又は相鉄バス「運転試験場循環」で「運転試験場」下車徒歩 3 分

■参加資格：臨床心理士や医師等の守秘義務をもつ専門家、臨床心理系大学院生等。力動的臨床を実践しようと思っている/実践しはじめたばかりの初心の方から、既に経験を積んでおられる方々まで幅広い経験の方が研鑽できる内容となっております。

■費用：6,000 円（修士課程の大学院生は 5,000 円）（支払い後の返金は不可です） ■定員：140 名（先着順です）

■申込方法：(1)名前(2)所属(3)メールアドレス(4)臨床心理士の資格の有無、を明記して、以下までご連絡ください。銀行口座をお知らせしますので、振込をしてください。振込を確認できた時点で申込確定となります。

■申し込み先：北川清一郎 宛 kitagawa1856@yahoo.co.jp

■主催：横浜精神分析研究会 http://psy37.web.fc2.com/